

にこにこ情報

竹とんぼ

第200号 平成29年10月1日



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525(にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール info@ryokujukai.or.jp



創刊から33年... 第 **200** 号



かりゆしシニアクラブ
(沖縄市老人クラブ連合会)
石川幸夫会長



沖縄市社会福祉協議会
積 静江会長



沖縄市健康福祉部
上原三千代部長

また、かりゆしシニアクラブ(沖縄市老人クラブ連合会)の石川幸夫会長が、乾杯のあいさつを行った。舞台では、カジマヤーを迎えられた奥座フミ様のご家族による余興や比嘉マチ子民謡研究所の皆様による沖縄民謡、カチャー

シーで会場を盛り上げ、参加者の皆様を楽しませた。スクリーンでは「思い出の写真」のスライドショーと共に、これまで歩んできたそれぞれの歴史を紹介。参加されたご家族からは写真を懐かしむ笑顔やこれまでの苦勞に感謝し涙ぐむ光景も見られた。最後に、緑樹会の富永健常務理事からの御礼の言葉と共に、和やかな時間を過ごした敬老会・新百歳・



カジマヤー・トーチカ並びに生年祝いは幕を閉じた。
(奥座嘉一郎)



余興では、かじまや一の奥座フミ様のご家族が、唄三線で「固み節」「丘の一本松」「兄弟小節」などを披露。軽妙な語り口と演奏で参加者を楽しませた。



寿 新百歳祝・風車祝・米寿祝・生年祝



野底ヨシ子 様(かじまや一)



島袋 藤 様(かじまや一)



奥座 フミ 様(かじまや一)



當眞 嗣光 様(かじまや一)



伊波 孫一 様(かじまや一)



知花 包哲・トミ 様ご夫妻(かじまや一)

社会福祉法人緑樹会が主催する平成29年度敬老会・新百歳・カジマヤー・トーチカ並びに生年祝いが、9月10日(日)、NBC 4階ホールで華やかに開催された。敬老会には、祝い対象者の皆様をはじめそのご家族、来賓を含め約140名が参加し、長寿を祝った。開会に当たり、主催者の浜川通理事長より、参加された皆様へ感謝の言葉と祝いの日を迎えた対象者の皆様へ功績を称える言葉が述べられた。来賓あいさつでは、桑江朝千夫沖縄市長(代読)と沖縄市社会福祉協議会の積静江会長が登壇し、戦後の激動の時代を多くの苦勞と共に、発展・復興の礎を築き上げてきた皆様の尽力に敬意と感謝の言葉を述べられると共に、地域福祉づくりにさらに取り組むとあいさつした。



胡 愛珍 様(と一かち)



石垣 直 様(と一かち)



我那覇光子 様(と一かち)



川村 和子 様(と一かち)



知念 ユキ 様(とうしび一)



湧田 舎樽 様(とうしび一)



緑樹苑デイサービスセンター

夏まつり

8月21日(月)、緑樹苑デイサービスセンターでは夏祭りが行われた。
はじめに、みどり学童クラブの児童達によるダンスが披露され、元気いっぱいな子ども達のダンスに利用者も「可愛いね」と笑顔をこぼした。また、浴衣を着た女性職員へは、「綺麗だね。似合っているね」と、いつもと違った雰囲気にも喝采。その後カラオケや民踊り、三線演奏などを楽しんだ。



職員によるエイサーでは、三線の音が響き渡る中、迫力ある大太鼓と締太鼓、力強い男踊り、しなやかな女踊りが披露され、チョンダラーの指笛も加わり、会場の盛り上がりは最高潮に達した。唐船ドリーになると全員でカチャシーを踊り、会場が一体となった。

最後にお楽しみ抽選会も行われ、一人一人くじを引き、一斉に開くと10名の方が「当たり」と手を挙げ、笑顔で景品を受け取っていた。そのほか、かき氷も配られ利用者の皆さんは「冷たくて美味しい」と満足気な様子。今年も大いに沸いた緑樹苑デイサービスセンターの夏まつりとなった。(比嘉樹)



緑樹会旧盆エイサー



各施設で道ジュネー エイサーを披露

旧盆の中日となる9月4日(月)、緑樹苑、ケアハウスはいびすかす、ケアハウスていんさぐぬ花の各施設で職員による勇壮なエイサーが披露され、利用者を魅了した。

「ひーやーさーさー」の掛け声とともに、軽快な三線の音色と指笛、力強い太鼓の音が施設内に響き渡り、会場に集まった利用者の皆さんを前に「道ジュネー」が行われた。

緑樹会恒例のエイサーは毎年旧盆の中日に行われ、この日を楽しみにしている利用者も多い。

利用者の皆さんは太鼓に合わせて手踊りしたり、手拍子しながら掛け声をいれたり、暑さを忘れて元気にエイサーを楽しんでいたようだった。

演舞終了後には、迫力あるエイサーを披露した職員に拍手を送り、さらに握手を求め「よかったさ」と労いの言葉をかけていた。

(砂川智規)





皆さんとても喜んでいました。
(津嘉山聖羅)



デイサービスでコーラス披露、お菓子のプレゼントも！

「コーラルグリーンハーモニー」の皆さん来苑

8月17日(木)、緑樹苑デイサービスセンターに女性合唱団「コーラルグリーンハーモニー」の皆さんがボランティアで来苑し、コーラスを披露した。

唱歌メドレーでは『さくらさくら』『春の小川』『たなばたさま』『虫のこえ』『紅葉』『冬景色』『スキー』などを披露し、美しいハーモニーが会場に響き渡った。利用者の皆さんも一緒に口ずさみ、その歌声に聞き入っていた。

利用者の皆さんからは「感動して涙が出た」「心が洗われるような気分でした」との声があった。中には、難聴で普段は会話が少ない方も、集音器を使用し「ふるさと」を一緒に歌っていた。歌い終わった後に、合唱団の皆さんから利用者の皆さん一人ひとりにお菓子と小物入れのプレゼントもあり、皆さんとても喜んでいました。

第2回「ぬちぐすい講座」を開催 沖縄市地域包括支援センター西部北(緑樹苑)



8月21日(月)、地域包括支援センター西部北が行う『第2回ぬちぐすい講座』を開催しました。

『認知症予防について』をテーマに講座を行いました。(認知症サポーター養成講座、沖縄市の取り組み、認知症予防体操、情報交換)。講座には17名の参加があり、活発な情報交換会も行われました。

包括支援センター職員による認知症サポーター養成講座の講師派遣が可能です。認知症について知りたいという方は包括支援センター西部北までご連絡下さい。

(比嘉久美子)

認知症予防について

次回(第3回)は、
『相談窓口について(障がい・高齢者)』
日時:10月23日(月)10時～
場所:ケアハウスはいびすかす
参加申込
沖縄市地域包括支援センター西部北
電話:(098)988-5525
担当:比嘉久美子
お気軽にお申し込みください！



みどり学童クラブ うーまー通信 みどり学童クラブ 楽しい♪ 夏休み!! ~後編~



8月10日(木)、遠足第3弾も、みどり学童クラブ恒例の『倉敷ダム』へ。子ども達は荷物を置いて一目散に川へダッシュ！持ってきた水鉄砲でウォーターバトルをしたり、人工の滝つぼの中で魚を見つけたり、浅瀬に石を積んでダムを作ったりと楽しんでいました。

幸いな事に程よく曇り空だったので快適な陽気でしたが、大人には少し肌寒くブルブル震えていました。(笑)

JTA航空教室 (日本トランスオーシャン航空)



そして8月18日(金)、遠足のメイン第4弾は、JTA(日本トランスオーシャン航空)の航空教室へ。

普段は入れない空港の裏側を見られるという事で、子ども達のみならず大人も楽しみにしていました！格納庫の中で大きな飛行機を近くで見せてもらい、一つ〇億円(!)もするエンジンや自分達の背丈ほどあるタイヤなど、興味をひくものばかりでした。

航空教室のあとは平和祈念公園にできた新しい公園へ。

ボリューム満点のメインイベントでした。(野崎太郎)

10月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさぐぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(日)			カラオケ		
2(月)			映写会	映写会	
3(火)					
4(水)	利用者健康診断	ミニシアター			
5(木)		カラオケクラブ		ハンドマッサージ	
6(金)			運動会	手芸クラブ・手作りおやつ会	
7(土)			歌会		園外活動
8(日)			カラオケ		
9(月)		書道クラブ	映写会		学童休園日
10(火)		三板クラブ	ボウリング・三板クラブ	運動会	
11(水)		防災訓練		映写会	
12(木)	防災訓練	手作りおやつ会		防災訓練	
13(金)		運動会	映写会・パズル塗り絵	手芸クラブ・三板	
14(土)	沖縄市福祉まつり		歌会		園外活動
15(日)	沖縄市福祉まつり		カラオケ		
16(月)		お茶会	映写会	手作りおやつ会	
17(火)		ドライブ		映写会	
18(水)		ミニシアター			
19(木)		カラオケクラブ・美化活動	誕生会		
20(金)		手芸クラブ		手芸クラブ・誕生会	
21(土)			歌会		園外活動
22(日)			カラオケ		
23(月)		書道クラブ	映写会		
24(火)		三板クラブ	ボウリング・三板クラブ	三板	
25(水)	防災訓練	防災訓練		防災訓練	
26(木)		散髪		映写会	
27(金)		誕生会	映写会・パズル塗り絵	手芸クラブ・三板	
28(土)					園外活動
29(日)			カラオケ		
30(月)					
31(火)					

感謝録

温かい御支援、御協力下さいました方々に、厚く御礼申し上げます。

(平成二十九年八月一日～八月三十一日)

〈ボランティアの部〉

千原 郷友会

代表 エイサー保存会
福地正治 様

他 20 名様

コールグリーン

ハーモニー

16 名様

編集後記

緑樹会広報誌「竹とんぼ」は、今月号で第200号を迎えました。昭和60年1月1日に創刊号が発行され、平成17年12月に第100号を達成。途中、合併号や季刊発行、休刊の時期などもありましたが、平成23年3月号からまた毎月発行を続け、ついに200号となりました。

創刊から32年10カ月。改めて創刊号を読み返してみました。記事には、戦後の「福祉の母」といわれた島マスさんが「退屈しない人生を」を寄稿しており、その中に「たとえ、ねたきり、ひとり暮らし老人といえども、単なる医療介護や物資面でのサービスだけではどうしようもない。要はこれらの人たちの精神面をどう支えていくかが問題である」とあります。

島マスさん、あなたの思いを我々は体現できているだろうか…あなたの理想とした社会を實現できているだろうか…。

緑樹会は今後も福祉の増進に努め、地域の皆様とともに歩んでまいります。(砂川智規)

2000号を記念して、「創刊号」と「第100号」をホームページに掲載しています。